

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
皮膚科学講座
研究責任者： 吉川 未雪

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 乳房外パジェット病における Tissue factor、TROP2、Nectin4 の発現および進行度の関連性に関する研究

研究の目的

子宮頸癌など他の悪性腫瘍では Tissue factor というタンパク質の発現がみられることが報告されており、治療標的となっています。本研究の目的は、乳房外パジェット病（extramammary Paget's disease: EMPD）における Tissue factor の発現の有無を明らかにし、その発現と腫瘍の進行度との関連を検討することです。

また、Nectin4 および TROP2 といった他の関連するタンパク質についてもあわせて評価し、これらの共発現と病気の特徴との関係についても検討します。

本研究により、EMPD の病態の理解を深め、将来的な診断や治療の向上に役立てることを目指しています。

研究実施期間 実施許可日 ～2030年3月31日

対象となる方 2000年4月1日～2025年3月31日に弘前大学皮膚科において乳房外パジェット病の診断のための生検や、治療のための手術など、病理組織学的検査を行った方。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、病変部位、腫瘍の進行度（表皮内病変に限局するもの、真皮浸潤の有無、リンパ管侵襲の有無、リンパ節転移の有無）、病理組織診断、治療内容および転帰（再発の有無、生存期間、化学療法や放射線治療の有無）を抽出し、研究のために使用します。また、診断もしくは手術により採取した病理組織検体を使用し、免疫組織化学染色を行います。

外部への試料・情報の提供

本研究における外部への試料・情報の提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既

に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	皮膚科学講座 吉川 未雪 電話番号 0172-39-5087
--------------	--------------------------------